

2024 年度学校評価

りんどう幼稚園

1. 教育方針

(1)りんどう幼稚園の目指す子ども像

- ・ 遊びを見つけつくり出すことを楽しみにする子ども
- ・ 心身共に健康で、明るく、たくましい子ども
- ・ 心情豊かで、思いやりのある子ども

(2)2024 年度の目標

○あそぶ力を生きるちからに

・遊びの中から学ぶ

子どもたちは「遊び」の中から多くのことを学びます。自分で見つけて、試して、時には失敗し、また挑戦する。遊びの中で生じた友だちとのトラブルも自分たちで解決する。私たちは、そんな子どもの時間を大切にしていきたい。

・自分たちで決める、話し合っで決める

自分で考え、友だちと話し合い、そして決める。この体験は、その人らしく生きていくために必要な力へとつながっていきます。わたしたちは、保育者と子どもはもちろん、子どもたち同士の「対話」を大切にしていきたい。

・多様性を尊重する

子ども一人ひとりにその子らしさがあり、発達の手みもさまざまです。私たちは、そんないろいろな子どもがいる中だからこそ豊かな学び合い、育ち合いを大切にしています。

○保護者や地域の方と共に

幼稚園教育要領にも幼稚園の運営に当たっては、子育ての支援のために保護者や地域の人々に機能や施設を開放する必要性が書かれている。園庭開放やにこにこクラブの機会を増やしていきたい。

保護者と良い関係性を築くために、なるべくクラスで起きていることを発信していくことを大切にしていく。

父母会が縮小し、保護者の方にも協力していただきながら、日々の保育運営を考えていきたい。

2. 教職員について

(1) 教職員数及び勤続年数の分布 2024年3月31日時点

・教職員

園長 1名

副園長 1名

事務長 1名

教諭 19名

バス運転手 2名

非常勤教員 19名

・正規職員の勤続年数

勤続年数	人数
40～	2
30～39	4
20～29	1
10～19	2
5～9	5
0～4	10
合計	24

(2) 所有する免許の種別や他の資格

幼稚園教諭、保育士、子育て支援員、臨床心理士

(3) 研修の実績及び研修制度について

・外部研修

改めて考えたい園長・主任・リーダーの役割

保育ってやっぱり面白い

子ども理解と発達支援の実際

幼児のための絵画指導

クラスづくりとは一どの子にとってもわかりやすく

保育に役立つ手作りおもちゃ&遊び実践

子どもの主体性を引き出す保育と環境づくり (以下省略)

・園内研修

環境について(早稲田大学 佐藤将之先生)

アート研修(atlier le matin 浅羽聡美先生)

救命講習(小平市消防署)

乳児保育について(白梅短期大学 源証香先生)

子どもの人権について(新宿せいがこども園 中山利彦先生)

幼保小の連携について(白梅大学 高田文子先生)

危機管理研修(危機管理教育研究所 国崎信江先生)

フレーベルオンライン研修

3. 園児について

年少クラス 3 クラス

年中クラス 3 クラス

年長クラス 5 クラス

園児数 228 名

4. 施設・整備について

(1)遊具の種類や設置状況

ブランコ、滑り台、登り棒、ジャングルジム、鉄棒、木の家

(2)安全にかかる配慮

遊具の点検を日々行い、危険な箇所があったら職員間で共有し、対策を取っている

5. 保育料等について

(月額)

保 育 料	32,000 円	
バス維持費	5,000 円	利用者のみ (消費税込)
父 母 会 費	250 円	
卒園積立金	1,000 円	年長のみ (4月~1月)
給 食 費	1 食 400 円	牛乳代を含む (消費税込)

6. 教育内容等について

(1)教育時間や教育内容、及び休園日

通常保育時間 8:45～13:30

休園日：土日・祝日 その他園が定めた日

(2)行事について

入園式、誕生会、保育参観、個人面談、内科健診、交通安全指導、造形、体操指導、春の親子遠足、歯科健診、プラネタリウム(年長)、プール、七夕まつり、夏祭り、引き渡し訓練、保護者向け講演会、運動会、秋の遠足、歩け歩け(年長)、鑑賞会、作品展、クリスマス会、豆まき、発表会、卒園式

7. 預かり保育について

アットホーム 7:30～8:45

13:30～18:30

長期休暇も実施

8. 子育て支援について

2歳児プレ保育 おひさまクラス

地域に向けてにこにこクラブ（園庭開放、お譲り会、カフェ、わらべうたで遊ぼう…）

9. 給食について

完全給食 1食 400円

10. 父母会について

会長、副会長、書記、会計、卒対、通信係

11. 登園・降園について

(1)通園方法

徒歩、自転車、自動車、園バス

(2)安全対策

開門時間を決め、開門時には職員が必ず付くようにしている。

門に電磁錠、防犯カメラを設置。

小平警察の防犯訓練を実施。

外部から内部が見えないように目隠しを設置。

12. 園児募集について

(1)見学会、説明会の日程

見学会は週2回ほど開催

説明会は、9月10日に開催

13. 学校評価の結果について

- A.十分達成されている。 B.達成されている。 C.取り組まれているが成果が十分でない
D.取り組みが不十分である。

○あそぶ力を生きるちからに A

・遊びの中から学ぶ

登園してくると、すぐにカバンを置いて遊びに向かう様子が見られた。各部屋の環境も子どもたちの興味関心に合わせてつくられており、遊びが充実している様子。保育者もあまり間に入り過ぎずに見守ることができ、子ども同士で遊びを考えたり、工夫したり、トラブルを解決しようとする姿が見られた。

・自分たちで決める、話し合っで決める

行事の内容を考えたり、一日の振り返りを行うなどお互いの話を聞く時間を設けるようにしている。発表会で年長は、各クラス小道具や衣装について話し合ったり、内容を一緒に考えてきた。年少クラスでは、自分の作った作品や紙芝居を読む姿が見られた。

・多様性を尊重する

いろいろな子が園で過ごす中で、私たちも対応に悩むことがあったので、今年度より、心理士が週3日勤務し、アドバイスをもらうようにした。また、保護者面談も心理士が行い保護者のご家庭での悩みを聞くこともできた。療育先にも見学に行ったり、療育先の先生が訪問してくれたりし、専門機関、ご家庭と連携を取り、お子さんの成長を見守ることができた。

いろいろな子がいることで、自然と子どもたちがお互いのことを思いやり、どうしたらお互いに気持ちよく過ごせるかを考えることができていた。

○保護者や地域の方と共に B

働く保護者が増えてきたことで、今年度より父母会の縮小を行う。今まで保護者が行ってきたものを園で行うようになった。その代わりに、保護者にはボランティアを募ってお手伝いをしていただいたり、園と保護者との繋がりが切れないようにした。

また、一緒にDIYを行う等、一緒に保育をつくっていく取り組みも行えた。まだ、参加者が少ないので、今後参加しやすい工夫も行っていきたい。

地域の方に向けてにこにこクラブを行うようになり、未就園児の子ども園によく来てくれていた。園庭開放やお譲り会はとても参加者が多く、保護者のニーズに合わせ次年度も引き続き計画していきたい。

月に1度、子ども食堂の調理場として配膳室を貸している。在園児の保護者だけでなく、他の保育園に通っている子、小学生等80名くらいの方が参加している。畑の野菜が余った時に大根の収穫体験を行うことができた。土日閉めていることが多いので、今後もうまく施設の活用をしていきたい。